

(様式第1号の3)

<記入例>

※「ひょうごチャレンジ起業支援貸付」を希望する場合は、必ずこの申請書を提出してください。

「ひょうごチャレンジ起業支援貸付」を希望しない場合は提出不要です。

平成30年度ひょうごチャレンジ起業支援貸付申請書
(シニア起業家支援事業同時申請分)

平成30年4月16日

公益財団法人 ひょうご産業活性化センター 理事長 様

申請者 (事務所・店舗等の所在地又は代表者住所)

兵庫県神戸市中央区東川崎町1-8-4

事業者名 (会社名・屋号等 (未定の場合は仮称を記載))

ひょうご神戸

代表者職・氏名 代表 活性 太郎 印

※平成29・30年度(平成29年4月1日～平成31年2月末日)
に起業した方又は起業を予定している方が対象

1 貸付申請金額 5,000,000円

※申請借入金(B)は、500万円(貸付額は10万単位、最低金額は100万円)を上限とします。

2 所要資金及び調達方法

(単位:千円)

所要資金		調達方法	
内 訳	金額	内 訳	金額
設備資金 ○設備の内容・使途(目的)等を記入してください。 ・内装外装工事費 4,500 ・設備費 1,500 ・備品 什器 1,000	7,000	申請借入金(B) ※貸付日から1年以内の経費が対象 ※貸付日はH30年10月末の予定	5,000
		金融機関等借入金(C) ※予定も含む。ただし借入ができなかった場合は計画の減額変更が必要	2,000
運転資金 ○運転資金の内容を記入してください。 ・材料仕入 1,000 ・水道光熱費 1,000 ・広告宣伝費 1,000	3,000	自己資金(D) 預貯金 知人からの借入は対象外。	3,000
		(参考) 助成金申請額 ※H30年4月1日～H31年2月末までの経費が対象	(1,000)
合計(A)	10,000	合計(A) = (B) + (C) + (D)	10,000

※申請借入金額は所要資金合計(A)の70%以内

⇒ (B) ÷ (A) = 50% ≤ 70%

3 売上・利益 (実績・計画)

(単位：千円)

区 分	実 績	計 画		
	直近 H29/4~ H29/12) 期	第 1 年 次 H30/12 期	第 2 年 次 H31/12 期	第 3 年 次 H32/12 期
① 売上高	3,200	4,700	5,200	5,700
② 売上原価	2,000	2,900	3,100	3,400
③ 経 費	1,400	1,700	1,800	1,800
④ 営業利益 (①-②-③)	▲200	100	300	500
⑤ 経 常 利 益	▲200	90	280	480
⑥ 税引後当期利益	▲200	80	260	460
⑦ 減 価 償 却 費	300	300	250	250
⑧ 合計 (⑥+⑦)	100	380	510	610

※新規開業の場合は計画のみご記入ください。後日「収入及び支出予定の内訳書」をご提出いただくことがあります。

※決算月は個人事業者の方向けに12月を入れていますが、法人の方は適時決算月をご変更ください。

4 金融機関取引等の現状 (申請時 ※返済額は直近6か月間の平均値)

(1) 事業所

(単位：千円)

現 在 の 金 融 取 引	取引金融機関	預 金	短期借入金			長期借入金			借入金合計 ①+②
			①残高	返済額	担 保	②残高	返済額	担 保	
	●● 銀行	1,000			有・無			有・無	
	▲▲ 信用金庫	500			有・無			有・無	
	■ ■ 信用組合	300			有・無	3,000	1,250	有・無	3,000
	合 計	1,800			有・無	3,000	1,250	有・無	3,000

(2) 代表者の資産状況 (通帳等にて自己資金の確認をさせていただく場合があります。)

(単位：千円)

現 在 の 金 融 取 引	名 義 人	金融機関名	金融資産 (種類)		借入金 (種類)		
			預金・株式等	金 額	住宅等	金額	毎月返済額
	活性 太郎	●●銀行	預金	500	住宅ローン	10,000	45
	活性 太郎	▲▲信用金庫	預金	100			
	活性 太郎	■ ■信用組合	預金	3,000			
	合 計			3,600		10,000	45

5 連帯保証人 ※会社の場合は原則代表者のみご記入ください。個人事業主の場合は記載不要です。

(記載例は個人事業主なので、記載は不要ですが、会社の場合は女性起業家支援事業連携枠貸付の記載にございますのでご参照下さい。)

連 帯 保 証 人	フリガナ 氏 名	住所・電話番号	勤務先・役職	申請者との 関係	年 収 (千円)	資 産
	(代表者)					千円
		年 月 日生	Tel.			